



# 施工の効率化・省力化に資する対策【国土交通省】

**施策概要**

**効果**

橋梁や砂防施設等のコンクリート構造物工におけるICTの技術基準類を策定し、3Dデータを用いた施工管理の導入環境整備を実施

ICTを活用し3Dデータを用いた施工管理を行うことで、建設現場の生産性の向上を図るとともに、施工管理の3次元データを活用して構造物の変状を迅速に把握し、維持管理の効率化や災害復旧の迅速化を推進



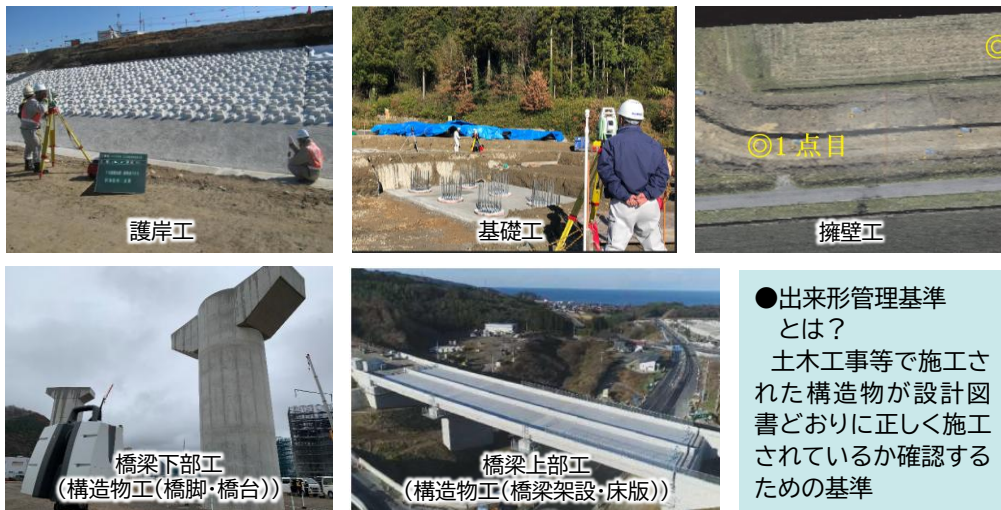
国土交通省



インフラ構造物の  
3次元データの活用

## 全国的な対策と効果

**対策** インフラ構造物について、ICT技術を活用した出来形管理基準の策定を実施（現在は以下の5基準を策定済み）



●出来形管理基準とは？  
土木工事等で施工された構造物が設計図書どおりに正しく施工されているか確認するための基準

## 5か年加速化対策の効果

【ICT活用工事(護岸工)】



【災害時】

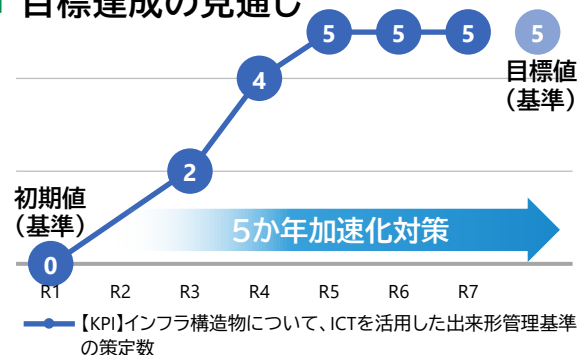


3次元計測器により施工管理を行うことで、建設現場の生産性の向上を図るとともに、施工管理の3Dデータを基礎データとし点検時や災害発生時に構造物の変状を迅速に把握可能

### ■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
-	0.2億円	0.4億円
R6	R7	累計
0.5億円	0.3億円	1億円

### ■ 目標達成の見通し



※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

(1)

人命・財産の被害最小化

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(2)

交通・ライフラインの維持

2

インフラの老朽化対策

(1)

施策のデジタル化

3

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2)

災害関連情報の高度化